

SRT搭載4K 60 P エンコーダ／デコーダ発売

ハイテクインター

低帯域でも安定伝送

ハイテクインター（東京都渋谷区、巨尾紀人社長、TEL03・53334・5260）は、SRT（エラー訂正機能）搭載の4K 60 Pエンコーダ／デコーダとして、「TCS-8500」の販売を開始。手のひらサイズのコンパクト筐体で、ドローンにも実装可能なモデルとして、多用途に提案する。カメラやPCの映像信号をIP化して、リモートで表示するニーズが広がっている。映像信号をIP化する際、エンコーダ／デコーダを組み合わせるが、大半のモデルはフルHD対応に止まっている。4K対応モデルも徐々に市場に出ているが、筐体が大きい、回線エラーに弱い、データ容量が大きく伝送し難いといった声がある。

最大の長として、4Kの滑らかな映像でも、10Mbps以下（最小32kbps）の低帯域で伝送可能とした点が挙げられる。無線でも容易に映像を伝送でき、SRT機能で安定性も確保する。筐体は手のひらサイズの超小型で、低消費電力（最大6・5W）も兼ね備えるため、ドローンへの実装も可能。双方向の音声通話で、本部と現場間の連携も可能。

防犯及び防災用途でもドローンの活用が期待されているが、「TCS-8500」を組み合わせることで、映像伝送などをより円滑に行えるため、今後の採用動向が注目される。

新製品として発売する「TCS-8500」は、こうした課題を解決するモデルとして提供。

